

日本最大級の住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会」

入場無料

9月26日(土)、27日(日) マリンメッセ福岡にて開催！！

住宅の耐震化、木のある暮らし、省エネ住宅の最新情報を一挙に発信

9月26日(土)、27日(日)の2日間、住宅づくりに関連する企業や自治体が一堂に会し、耐震性や省エネ性、健康性に優れた家づくり、住まいや暮らしへの木の生かし方などを提案する住宅総合展示会「住まいの耐震博覧会」を開催いたします。



◆ 断層型地震で死者1,100名以上の被害予測 ◆

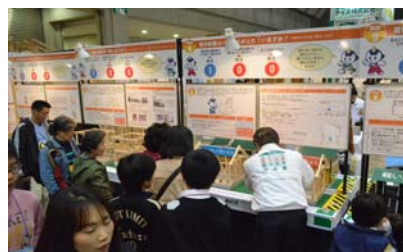
2005年3月20日にマグニチュード7.0、震度6弱の福岡県西方沖地震が発生し、死者1名、負傷者1,038名の被害をもたらしました。今年はこの地震から10年を迎える節目の年でもあり、福岡市は特設サイトを公開するなど、改めて防災を訴えかける活動を行っています。

福岡県防災会議が2012年5月に発表した「福岡県地域防災計画」によると、福岡県の中心部を通っている警固断層の南東部の断層ではマグニチュード7.2、最大震度7の地震が想定されています。この地震が発生した場合、死者は1,183名、負傷者22,508名、建物の全半壊32,988棟（うち木造建物29,155棟）と想定されています。これに対し、福岡県では同計画において「建築物の耐震化の推進」を重点項目の一つにあげ、住宅および公共施設の耐震化の推進や耐震診断を促進する施策を講じています。

こうしたなか、ナイス㈱では9月26～27日、マリンメッセ福岡にて住宅の耐震化の重要性を訴えるイベントを開催いたします。

①住宅の耐震化の方法を分かりやすく学ぶ場

「耐震提案エリア」では、1981年以前の「旧耐震基準」で建てられた住宅、1981～2000年の「新耐震基準」で建てられた住宅、2000年以降の「現行の新耐震基準」で建てられた住宅に関して、動く耐震模型を用いて揺れ方の違いを知っていただき、耐震診断や耐震改修の重要性を解説します。



専門家が耐震模型を使って丁寧に解説



開口部を生かして補強ができる「フレームプラス」

また、建物の築年数や形状、状態などに応じた耐震改修の方法や進め方などについて「NPO法人住まいの構造改革推進協会」の会員が無償でご相談に応じます。

耐震改修に必要な補強部材については、建物に代わってエネルギーを吸収し建物の損傷を低減する制震ダンパーや、窓およびドアを生かしながら住まいを補強できる新製品「フレームプラス」をはじめ、10種類の耐震補強材を展示します。このほか、福岡県、佐賀県、大分県などの地方公共団体が、それぞれのエリアにおける耐震診断や耐震改修に関する情報を発信します。

②子供も大人も楽しく学べる防災体験プログラム

「親子で学ぶ防災体験ゾーン」では、子供が楽しみながら学べる防災体験プログラムを、「NPO法人プラス・アーツ」の監修のもと行います。地震発生時に家具の転倒を防ぐ方法を学ぶ「家具転倒防止ワークショップ」や、ジャッキを用いてけが人をがれきの下から救出する方法を学ぶ「ジャッキアップゲーム」、毛布など身近にあるものを用いてつくった担架だけが人の搬送方法を学ぶ「毛布で担架タイムトライアル」など、いざというときに子供から大人まで役立つプログラムをご用意しています。また地震体験車により、過去に起こった大地震や今後発生が予測されている東海地震および南海地震で想定される揺れを体験することができます。



地震体験車で揺れを体感

ナイス株式会社



地域材の魅力を発信



木のおもちゃで「木育」を体験

③地域の木材を利用した家づくりを促進

「木材ゾーン」では、利用促進の機運が高まる木材に関する展示や木造住宅の実物大躯体を展示します。九州地方7県（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県）が出展し、良質な地域材や積極的な木材利用の取り組み、地域材を活用した魅力的な住宅の紹介などを行います。

国土交通省による今年の注目施策「地域型住宅グリーン化事業」へ対応し、すべて九州産材で構成されたゼロ・エネルギー住宅の躯体を展示するほか、次世代の建築部材として注目を集めるCLT（直交集成板）を用いた躯体を展示します。

このほか、木の積み木やおもちゃを用い、幼児の心身の発育に良いとされる「木育」を体験することができるコーナーや木工コーナーを設けるほか、木のプロフェッショナルが九州の木を構造材や内外装材に使い、自然塗料や和紙などの天然素材を組み合わせたバリエーション豊かなコーディネートを提案します。

9月26日(土)には、(独法)日本貿易振興機構(ジェトロ)と(一社)九州経済連合会が「中国・韓国向け木材輸出商談会」を開催します。日本産木材製品の輸出に意欲がある事業者と日本産木材製品の輸入に強く関心を持つ中国・韓国のバイヤーが耐震博覧会の会場を利用して商談を行います。

④最新の省エネな家づくりや各種性能リフォームをご紹介

建物の高い断熱性や住宅設備機器の省エネ性により、家庭で排出するCO2を抑制する「低炭素住宅」や、年間の一次エネルギー消費量が正味でゼロまたはおおむねゼロとなる「ゼロ・エネルギー住宅」についてもそれぞれコーナーを設けます。断熱材やサッシ、各種節水機器や高効率給湯器など、低炭素住宅をつくるために必要な住宅設備機器や、太陽光パネルおよび蓄電池、HEMSといったゼロ・エネルギー住宅をつくるために必要な省エネ、創エネ、蓄エネ機器を紹介します。

リフォームコーナーでは、断熱リフォームやバリアフリーリフォームのポイントと効果についても紹介します。「うちエコ診断士」による無料診断を実施し、自宅の光熱費や住宅設備機器の仕様から排出されるCO2量を算出し、住まい方や住宅設備機器の交換、リフォームによる光熱費の削減方法に関するアドバイスが受けられます。

◆セミナー情報◆

	時間	タイトル	講師
9月26日(土)	13:00 ～13:30	その時どうする！巨大地震・津波への対応	㈱ハイドロソフト技術研究所執行役員兼研究開発センター長 大阪大学客員教授 川崎 浩司氏
	15:30 ～16:00	光熱費・ガソリン代節約のすすめ！ ～うちエコ診断でエコなくらし～	全国うちエコ診断実施機関 NPO法人 住まいの構造改革推進協会
9月27日(日)	14:30 ～15:00	住宅業界専門弁護士による福岡事務所開設構想	弁護士法人 匠総合法律事務所 代表弁護士 秋野卓生氏

◆開催概要◆

【日時】 2015年9月26日(土) 10:00～17:00

9月27日(日) 10:00～16:00

【場所】：マリンメッセ福岡

【入場】：無料

【主催】：ナイス株式会社

【協賛】：木材・建材・住宅設備機器有力メーカー

【後援】：ナイスパートナー会連合会、ナイスわくわくクラブ、素適木材倶楽部、(一財)強靱な理想の住宅を創る会、(一社)木と住まい研究協会、NPO法人 住まいの構造改革推進協会、(一社)九州経済連合会

ホームページ：http://www.nicefair.com/

「住まいの耐震博覧会」とは

2002年からスタートし、東京、名古屋、仙台、大阪、福岡など全国主要都市で開催しています。福岡での開催は今回で12回目となります。全国での累計来場者数は167万人で、住宅の地震対策に関する総合展示会として国内最大級の規模となっています。

この件に関するお問い合わせ*****

ナイス株式会社広報室 宮川・有井 〒230-8571 横浜市鶴見区鶴見中央4-33-1 TEL: 045-501-5048